

食を通じてみんなを笑顔に

コロナ禍で始めた キッチンカー

町営住宅広崎団地をはじめ、各地でサンドイッチを販売するキッチンカー「Yamada House」。

「いらっしゃいませ」と元気な声でお客さんを迎えるのが、山田真大さんです。益城町出身の山田さんは、就職で県外に出たものの、「地元に戻り、いつか飲食店を開きたい」という思いがあったそうです。祖母の他界を機に、母を近くで支えたいと熊本に戻ることを決意。飲食店でアルバイトをしながら経験を積み、令和3年10月に開業しました。

「店舗も考えましたが、コロナ禍を踏まえ、いろんなところに移動できるキッチンカーにしました」。

パンをおいしく食べ てもらうために

食パンやバゲットは主に、益城病院が運営している「パン工房まりも」から仕入れたものを使用。中に挟む具材は

下段写真左から／相棒のキッチンカー／注文を受けてから作るブルコギビーフサンド。熱々のお肉を、カリッと焼いたバケットに挟みます。

断面が美しい卵や揚げ物、注文を受けてから炒める熱々のお肉などさまざま。出店の合間に試作を重ね、オリジナリティを追求しています。「休日にマルシェやイベントに足を運んだり、インターネットや動画サイトからヒントをもらい、アレンジを加えてとりあえずパンに挟んでみます。食べてみると想像と違うこともあるので、もっとおいしくならないか試行錯誤しています」と話す山田さん。「パンをおいしく食べてほしい」という山田さんの願いが込められたサンドイッチは、「これを食べると元気が出て頑張れる」と評判です。

真心を込めたサンドイッチを愛車に載せて。今日も山田さんはサンドイッチを待つ人のもとへ走ります。

Yamada House

080-5258-6095

出店予定など情報はこちら

